

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.22)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎0120-03-1010

FAX ☎0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は…093-951-2526(有料)へ



修理のご用命は

安心・信頼の

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎0120-1010-05

FAX ☎0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休(一部地域を除く)

営業時間：9:00～18:00

※携帯電話(PHSは除く)からのご利用は…0570-05-1010(有料)へ



交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

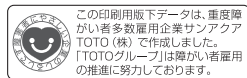
TEL ☎0120-8282-55

FAX ☎0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は…093-952-8682(有料)へ

お客様からお預かりした個人情報、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。詳細はTOTOホームページをご覧ください。



この印刷用版下データは、重慶障がい者多数雇用企業サンアークTOTO(株)で作成しました。「TOTOグループ」は障がい者雇用の推進に努力しております。

TOTO株式会社
TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>

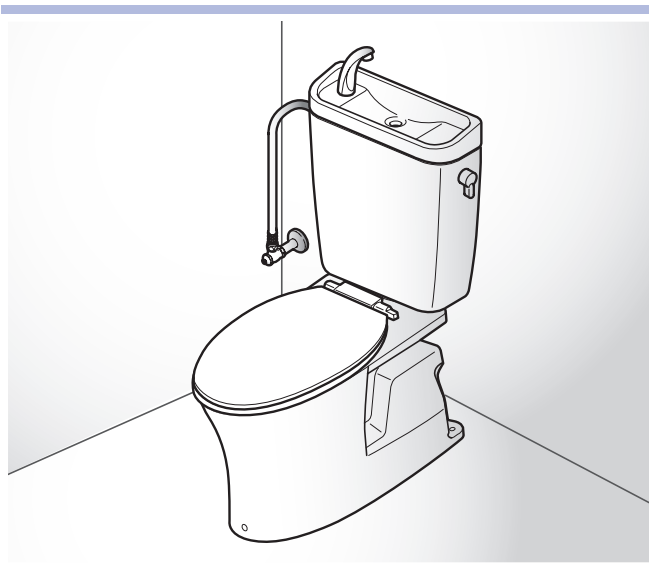
2012.3
H0A017N

TOTO

取扱説明書 保証書付

タンク密結形便器

品番 CS595系



はじめに

安全上のご注意 …… 1
各部のなまえ …… 5

使いかた

ご使用方法 …… 6
使用上のご注意 …… 11

お手入れ

日ごろのお手入れ …… 12
定期点検のおすすめ …… 20
定期的な点検 …… 21

こんなときは

故障かな?と思ったら …… 22
便器のQ&A …… 33

- ◆ このたびは、タンク密結形便器をお求めいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ◆ 保証書に、取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。
- ◆ この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

仕様 …… 35
アフターサービス …… 36
保証書 …… 38

安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

警告	
	水がかかったり、表面に結露を生じるような浴室などでは、使用しない 故障・漏電の原因になります。

注意	
	便器には、汚物、トイレットペーパー以外のものは流さない 便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	一度に大量のトイレットペーパーを便器に流さない 便器が詰まり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

注意

<p>ロータンクが満水になる前に流さない 洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>芳香洗浄剤、瓶などは、ロータンク内に入れない 水量が減少し、便器や排水管の詰まりなどになり、汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、内部器具を傷めたり内部部品に当たり、止水、吐水不良になるおそれがあります。</p>	
<p>陶器や手洗い鉢の中に熱湯を注がない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>手洗い鉢の中には、物を置かない 手洗い鉢から水があふれたり、飛散して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、ロータンク内に物が落ちて便器が洗浄不良になるおそれがあります。</p>	
<p>ふたやロータンク内部の掃除には、酸性・アルカリ性洗剤は使用しない ロータンク内部の器具を傷め、止水不良などの不具合や水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>陶器に強い力や衝撃を与えない 陶器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで傷をつけない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>	



禁止

⚠ 注意

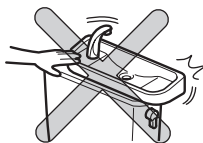


禁止

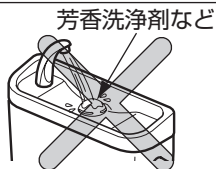
ロータンク本体に背もたれしたり、強く押ししたり引いたりしない
ロータンクが破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



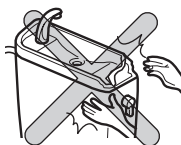
ふたは強く押ししたり、引いたりしない
ふたが落下してけがをしたり、器具を破損するおそれがあります。



芳香洗剤などを使用しない
内部器具を傷め、止水不良などの不具合や水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



陶器にヒビが入ったり、割れた場合、破損部は絶対にさわらない、使用しない
破損部でけがをするおそれがあります。早めに交換してください。

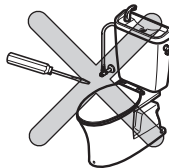


便ふたや便座の上に乗らない
破損してけがをするおそれがあります。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外の分解や改造はしない
止水、吐水不良などの不具合や器具が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

点検、分解などを行う場合には必ず当説明書の該当ページを見て手順どおりに行う
手順どおりに行わないと、破損や水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

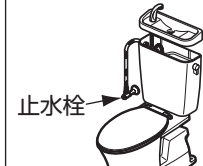


⚠ 注意

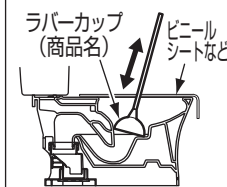


必ず実行

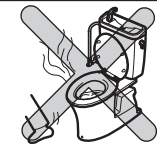
ふたを外して、点検、分解などを行うときは必ず止水栓を閉め、ロータンクの水を流してから行う
止水栓を閉めないで水が噴き出し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



便器が詰まった場合、市販の詰まり除去用の器具（商品名：ラバーカップなど）で詰まりを除去する
詰まった状態で水を流すと汚水があふれて、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。※詳細はP.24をご参照ください。



小便でも使ったあとは必ず水を流す
そのまま放置すると洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれて家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



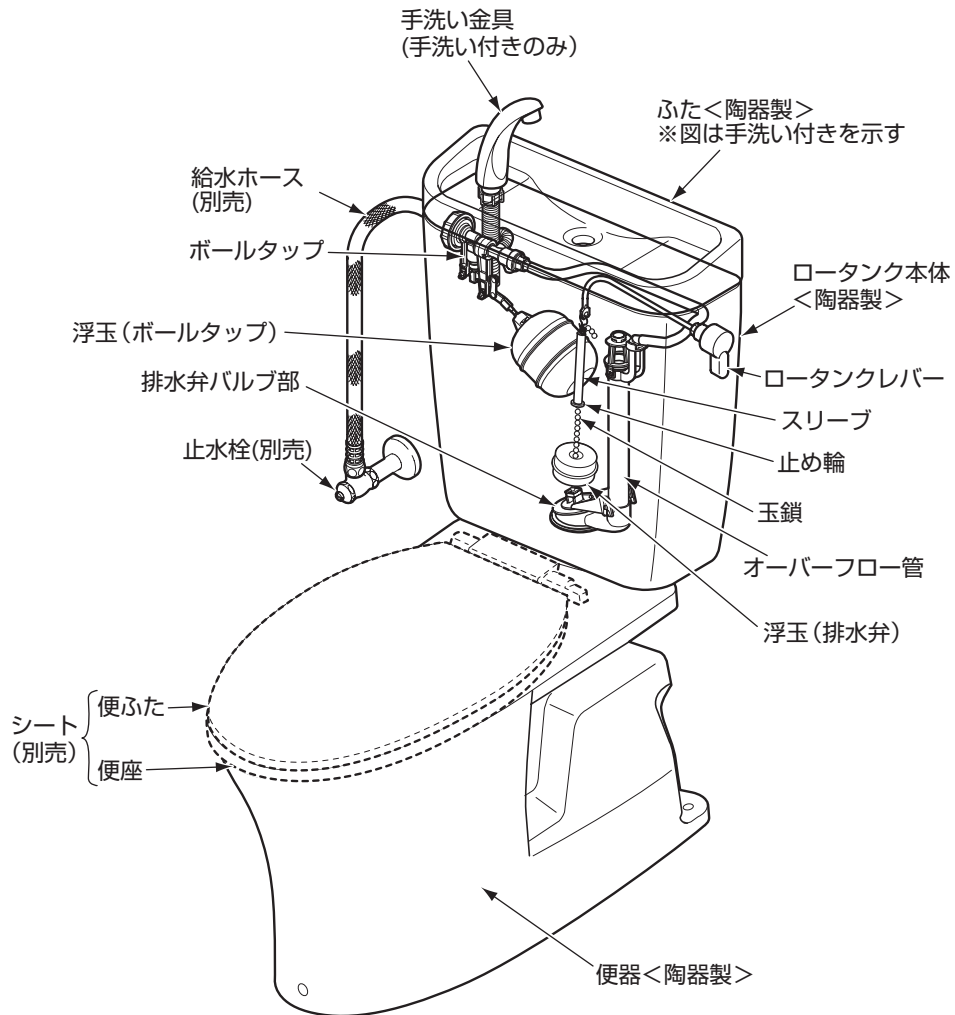
床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
放置しておくで床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。



便器やロータンクおよび給水管や止水栓の表面が結露した場合、乾いた布でふき取る
床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。※換気扇を回したり、窓を開けるなどトイレの換気をすれば結露しにくくなります。



各部のなまえ



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

ご使用方法

便器の使いかた



便ふたを上げ、便座に腰掛けて使用する。

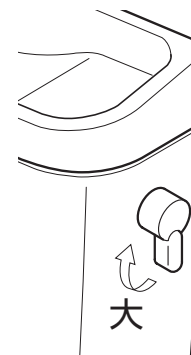
※小便の際は、小便が便器外へ飛び出さないよう注意してください。
立小便をすると、便器外へ跳ねる場合があります。
便器にたまった水などに小便が当たり、発生するものです。
座って小便をすることで、跳ね返りを軽減することができます。

ワンポイントアドバイス

便ふたカバー、便座シートカバーを設置すると、便座や便ふたが倒れてくるおそれがあります。
その際はカバーを取り外してご使用ください。

水の流しかた

使ったあとは、必ずロータンクレバーを正しく操作して水を流してください。



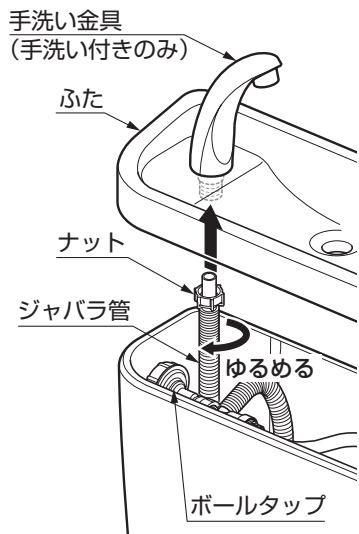
ロータンクレバーを手前に引く。

※ロータンクレバーは途中で止めず最後まで回してください。

※ロータンクレバーを強く引いたり押したりすると、破損するおそれがあります。

ふたの取り外しかた・取り付けかた

※ふた固定式の場合は、P.8を参照してください。



〔取り外しかた〕

1. 止水栓を閉める。

※P.25の「止水栓の開閉」を参照してください。

2. ふたを外す。

※手洗い付きの場合は、手洗い金具を持たないでください。

※手洗い付きの場合は、手洗い金具とボールタップがジャバラ管で接続されています。ふたを少し持ち上げてからナットをゆるめると取り外せます。

〔取り付けかた〕

1. ふたを載せ、取り外しと逆の手順で取り付け。

※手洗い付きの場合は、ジャバラ管を手洗い金具に差し込みナットで締め付けます。

⚠注意

手洗い金具とジャバラ管を確実に接続する。確実に接続していないと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

ナットの締め付けは手締めで行う。工具を使用すると破損するおそれがあります。

2. 止水栓を開ける。

※P.25の「止水栓の開閉」を参照してください。

⚠注意

ふたは落とさないように注意する。破損してけがをするおそれがあります。



必ず実行

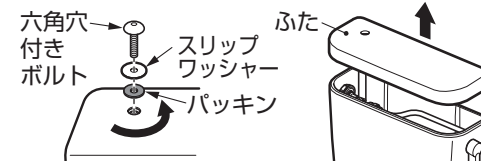
ふたは、ゆっくり載せる。激しく載せると、ふたが割れ、けがをするおそれがあります。

ふたの取り外しかた・取り付けかた (ふた固定式の場合)

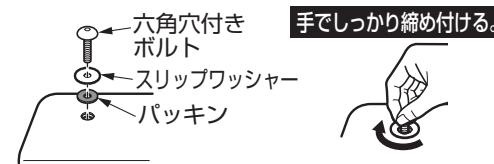
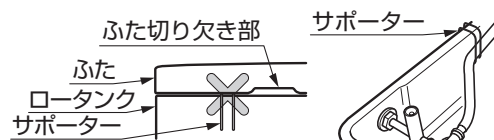
使用工具

六角レンチ
(サイズ: 4mm)

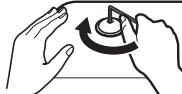
〔取り外しかた〕



〔取り付けかた〕



六角レンチで
2.5~3回転
程度締め込む



〔取り外しかた〕

1. 六角穴付きボルトを左に回し、外す。
2. スリップワッシャーとパッキンを外す。
3. ふたを垂直に持ち上げ、外す。

〔取り付けかた〕

1. ふた固定ナットを上向きにし、シャフトの目印(ライン)とふた固定ナットの側面の位置をあわせる。(背面からラインまで: 約60mm)
2. サポーター取付位置をロータンク中央にあわせる。

※サポーターがふた切り欠き部からずれていると、ふたを固定するときにロータンクとふたとの間にすき間が発生します。

3. ふたを載せ、六角穴付きボルトにスリップワッシャーとパッキンを付け、手でしっかり締め付ける。

4. 六角穴付きボルトは六角レンチで2.5~3回転程度締め込み、ふたのガタツキがないことを確認する。

※締め付けたとき、パッキンのはみ出しがないか確認してください。

⚠注意

ふたは落とさないように注意する。破損してけがをするおそれがあります。



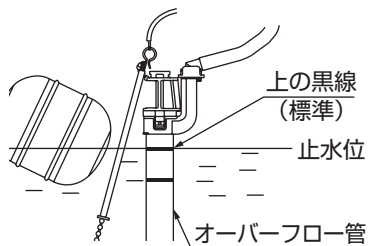
必ず実行

ふたは、ゆっくり載せる。激しく載せると、ふたが割れ、けがをするおそれがあります。

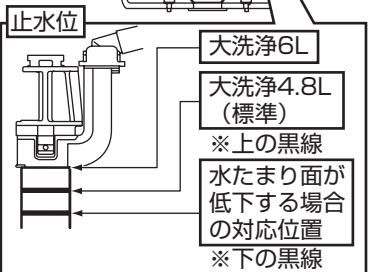
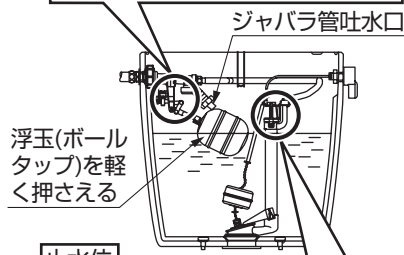
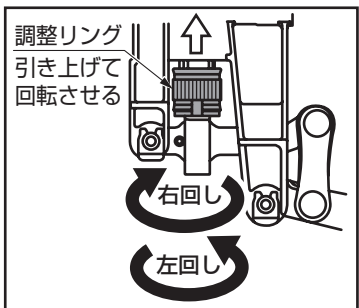
ねじの締め込み過ぎに注意する

締め込み過ぎると、ロータンクやボルトが破損し、けがをするおそれがあります。

ボールタップ止水位確認および調整



※図は洗浄水量設定の変更を行っていない場合



〔止水位の確認〕

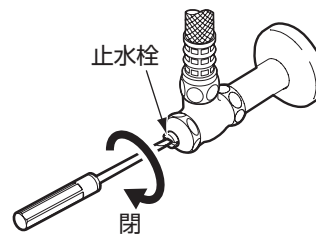
1. 止水栓を閉める。
※P.25の「止水栓の開閉」を参照してください。
2. ふたを外す。
※P.7～P.8の「ふたの取り外しかた・取り付けかた」を参照してください。
3. 止水位がオーバーフロー管に印してある上の黒線(標準水位)に合っているか確認する。

〔止水位の調整〕

1. 止水栓を開く。
2. 調整リングを引き上げる。
3. 調整リングを回し、止水位を**確実に合わせる。**
・止水位を上げる場合・・・上方より見て右回し
下げる場合・・・上方より見て左回し
※調整リングは浮玉(ボールタップ)を軽く押さえるとスムーズに回せます。
4. 調整リングを引き下げて確実にロックする。

ロータンクから水をあふれさせないために (止水栓の調整)

万一、ボールタップの故障で水が止まらない場合でもロータンクから水があふれないようにするために次の要領で調整を必ず行ってください。



1. 止水栓を閉める。

※P.25の「止水栓の開閉」を参照してください。

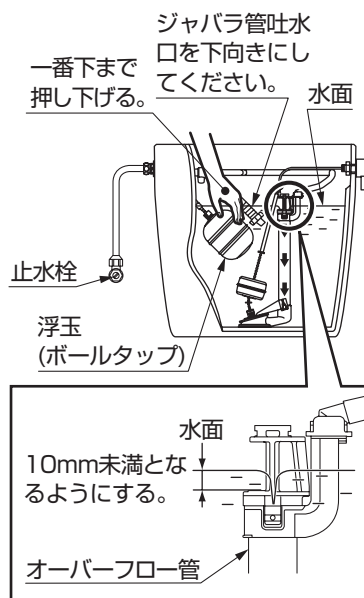
2. ふたを外す。

※P.7～P.8の「ふたの取り外しかた・取り付けかた」を参照してください。

3. 手洗い付きの場合は、左図の要領で水が飛び散らないように、ジャバラ管吐水口を下向きにする。

4. 止水栓を全開にし、浮玉(ボールタップ)を押し下げオーバーフロー管へ水をあふれさせる。

このとき、水面がオーバーフロー管上端より10mm未満となるように止水栓で調整してください。



⚠ 注意

必ず止水栓の調整を実施する

実施しない場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

使用上のご注意 (次のことをご守りください)

- 汚物の大きさや量、比重の違いやトイレットペーパーの量によっては、1回の洗浄で完全に流しきれずに残る場合があります。



豆知識

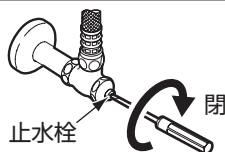
目安：大便約250gまたはトイレットペーパー（シングル）約10mまで流せます。

これ以上の汚物やトイレットペーパー（シングル）を流すと便器が詰まるおそれがあります。

- 必ずロータンク内が満水になってから流してください。
ロータンク内が満水になる前に流すと洗浄不良や詰まりの原因となります。連続使用をする場合は、約60秒間隔をあけてください。
- 小便でも使ったあとは必ず水を流してください。
そのまま放置すると、小便の成分と水道水の成分が結びついて固まり、便器の洗浄不良や詰まりの原因となります。

- 長期間留守にするときは、止水栓を閉めてお出かけください。

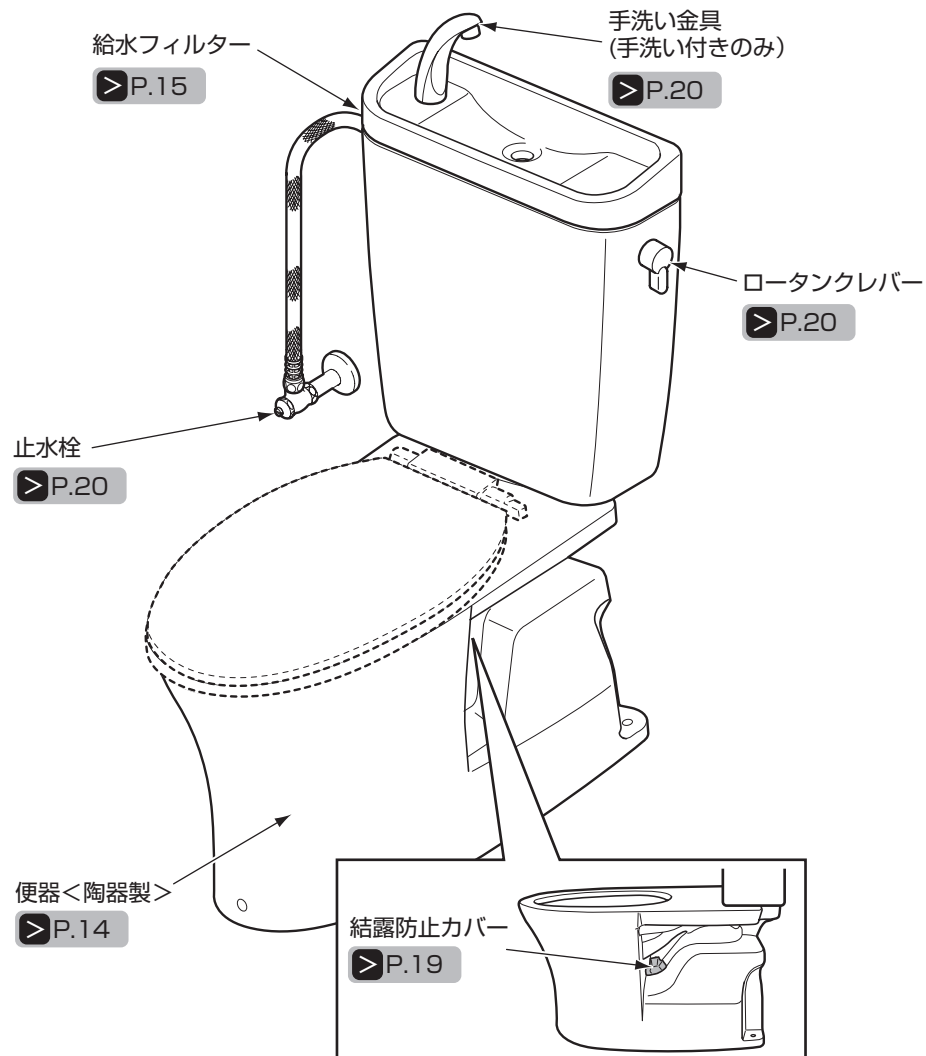
こうしておけば留守中に万一の水漏れも起きず安心です。



- 小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、十分に注意してください。
間違った操作や危ないことをすると故障やけがをするおそれがあります。

日ごろのお手入れ

トイレはお手入れ次第で清潔さを保ち、長持ちさせることができます。日ごろからこまめにお手入れをしてください。また、セフィオンテクト※1品は汚れが付きにくい特長を持っていますが、表面をきれいに保つために、日ごろのお手入れが大切です。



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※1 P.13参照

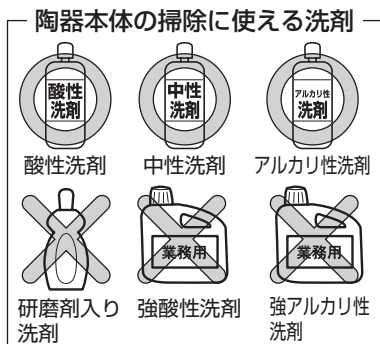
ワンポイントアドバイス

●掃除用の洗剤について

【陶器本体の掃除】

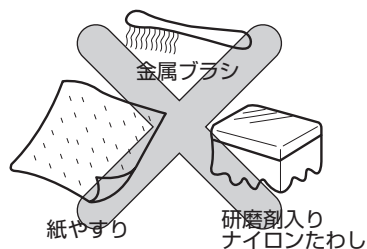
市販の家庭用洗剤であれば、酸性・中性・アルカリ性を問わずご使用になれます。ただし、研磨剤入りの洗剤や業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤には、陶器表面を傷つけたり、侵したりするものがありますので使用しないでください。

※蛇口まわりのクリーナー (P.37参照) はご使用いただけます。



●掃除用具について

金属ブラシや研磨剤入りのナイロンたわし、紙やすりなどは表面を傷つけますので使用しないでください。

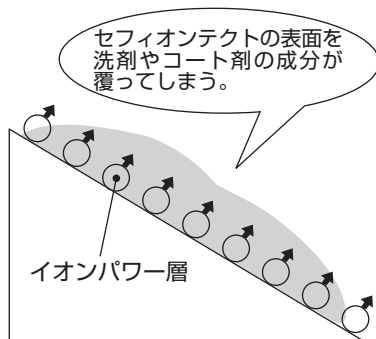


●セフィオンテクトについて

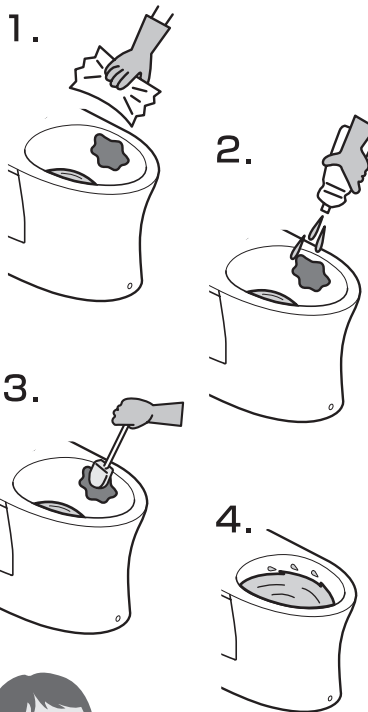
当商品は、セフィオンテクト加工をしております。セフィオンテクトとは、新開発の釉薬で陶器表面の凹凸を100万分の1mmのナノレベルでツルツルにします。また、イオンパワーで汚れの付着力を弱めるTOTO独自の技術です。

●表面コート剤や芳香洗浄剤について

撥水性や防汚性のある洗剤・表面コート剤・芳香洗浄剤などは使用しないでください。陶器表面を傷めることはありませんが、洗剤やコート剤の成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。



便器のお手入れ



●軽い汚れの場合
掃除用ブラシやスポンジで水洗いしてください。

●水あかなどひどい汚れの場合
1. 汚れがついた部分の水分をふき取ってください。

2. トイレ用洗剤を汚れに直接かけてください。

3. 掃除用ブラシやスポンジで、こすり洗いをしてください。取れにくい場合は割りばしなどを使ってこすり落としてください。

4. 最後に水洗いをしてください。

※洗剤によっては揮発ガスを発生するものがありますので、2~4の項目は早め(3分以内)に行ってください。揮発ガスが温水洗浄便座などの内部に入り、故障の原因になります。

●吐水口まわりが汚れた場合
使い古しの歯ブラシなどでお掃除してください。

床のお手入れ

- 便器から飛び出した小便や器具についた露が床に落ちたときは、よく絞ったぞうきんでふき取ってください。
- お掃除の際、床に落ちた洗剤や水もよく絞ったぞうきんでふき取ってください。



⚠️ 注意



必ず実行

床に落ちた小便、露、洗剤、水などは必ずよく絞ったぞうきんでふき取る
放置しておくと床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれがあります。

給水フィルターのお手入れ

⚠️ 注意



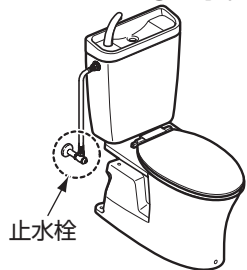
必ず実行


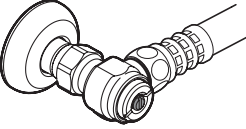
給水フィルター掃除前に必ずお読みいただき手順を守る
手順を守らないと水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

給水フィルター掃除をするときは、必ず止水栓を閉めロータンク内の水を流してから行う
水圧で給水フィルターが飛び出すことがあります。

給水接続部は確実に締める
確実に締めないで水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

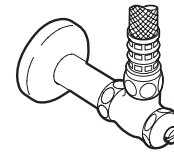
止水栓には、①止水栓自体にフィルターが付いていないタイプ
②止水栓自体にフィルターが付いているタイプの2種類があります。



① 止水栓自体に フィルターが付いていないタイプ	② 止水栓自体に フィルターが付いているタイプ
	
⇒P.16参照	⇒P.18参照

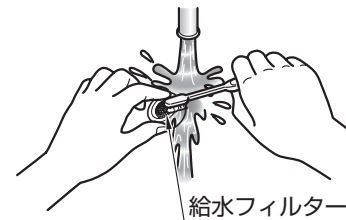
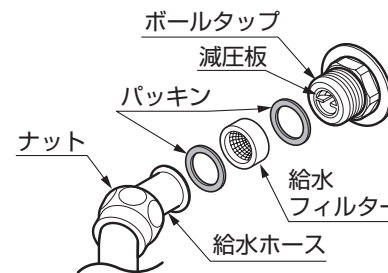
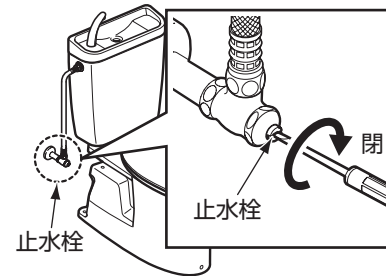
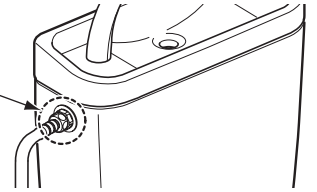
※ 止水栓が①と②のどちらであるかによってお手入れ方法が異なります。

「①止水栓自体にフィルターが付いていないタイプ」は、ロータンク側給水ホース接続部の給水フィルターを掃除してください。



■ 止水栓 (TS420F3U)

この部分にフィルターがあります。



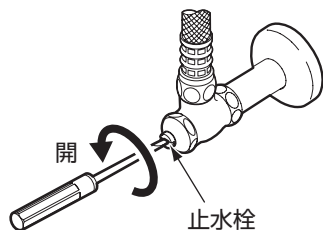
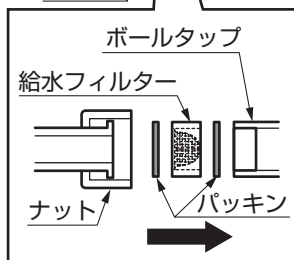
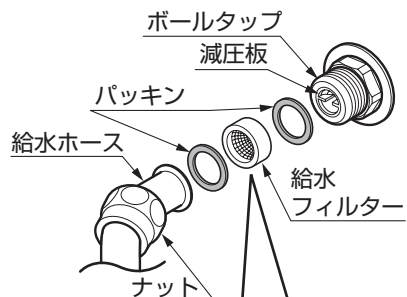
1. 止水栓を閉めて給水を止める。

2. ロータンク側給水ホース接続部のナットをゆるめ、給水ホースを外す。

※ 給水ホース内の水が少し流れ出ますので、バケツなどの容器で受けてください。

3. 給水ホース接続部から給水フィルターを取り外し、掃除をする。

※ 小さなごみは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。



4. 給水フィルターを給水ホース接続部に取り付ける。

※取り付ける順番に注意してください。
 ※給水フィルターの取り付け向きに注意してください。

5. ロータンクに給水ホースを接続する。

※給水接続部は確実に締めてください。

6. 止水栓を開ける。

※止水栓および給水接続部から水漏れしていないか確認してください。

⚠注意

必ず止水栓の調整を実施する

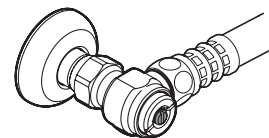


必ず実行

実施しない場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

※止水栓の調整については、P.10「ロータンクから水をあふれさせないために（止水栓の調整）」を参照してください。

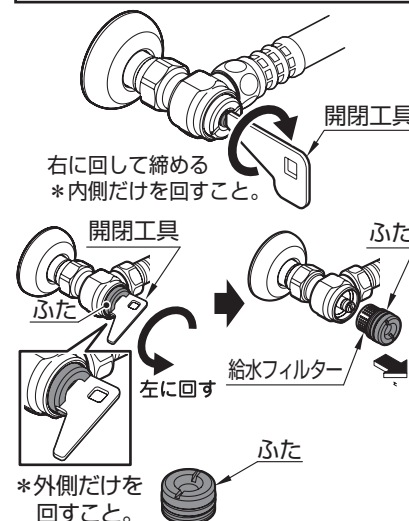
「②止水栓自体にフィルターが付いているタイプ」は、止水栓の給水フィルターを掃除してください。



■ 止水栓 (D10094Z)

※この止水栓の給水フィルターを掃除する場合は、専用の開閉工具が必要になります。

■ 開閉工具(85060R1Z)



1. 止水栓を閉めて給水を止める。

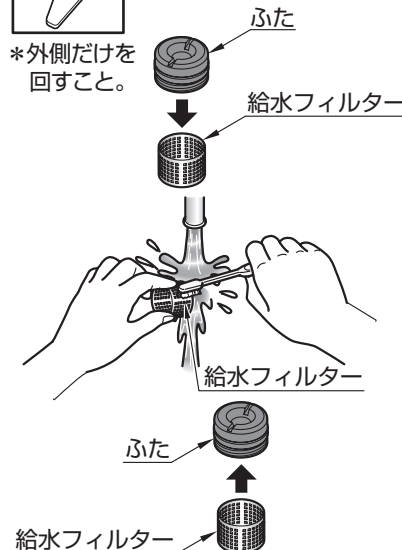
2. 給水フィルターのふたを開閉工具で開けて、給水フィルターを取り出す。

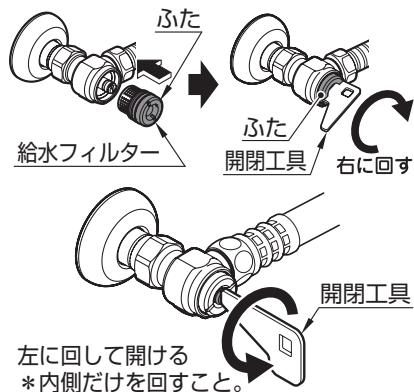
※止水栓内の水が少し流れ出ますので、バケツなどの容器で受けてください。

3. 給水フィルターをふたから取り外し、掃除をする。

※小さなごみは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

4. 給水フィルターをふたに取り付ける。





5. 給水フィルターを元の位置に取り付け、ふたを開閉工具で締め付ける。

6. 止水栓を開ける。
※止水栓および給水接続部から水漏れしていないか確認してください。

左に回して開ける
*内側だけを回すこと。

注意



必ず止水栓の調整を実施する

実施しない場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

※止水栓の調整については、P.10「ロータンクから水をあふれさせないために（止水栓の調整）」を参照してください。

これを実施して水がたまるのが遅いようであればP.16、17の手順に沿って給水ホース接続部の給水フィルターの掃除を実施してください。

結露防止カバーのお手入れ

注意



結露防止カバーは取り外さない
取り外すと結露水で床をぬらすおそれがあります。

- お手入れの際は、結露防止カバーを取り外さないでください。再度、取り付けることができません。
- 結露防止カバーのお手入れをするときは、柔らかい布でふき取ってください。

取り外さない



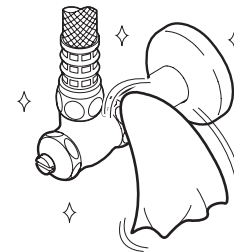
止水栓、ロータンクレバー、手洗い金具のお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

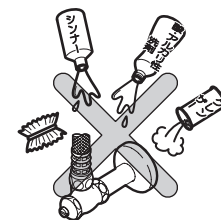
適量に薄めた食器用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取ったあと、水ぶきし、からぶきしてください。



お願い

表面を傷つけるものは使用しないでください。

- 蛇口まわりのクリーナー以外の酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- シンナー、ベンジンなどの溶剤
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ナイロンたわし、たわし、ブラシなど



定期点検のおすすめ

- 安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

給水フィルターの詰まり

点検の目安：1回／半年

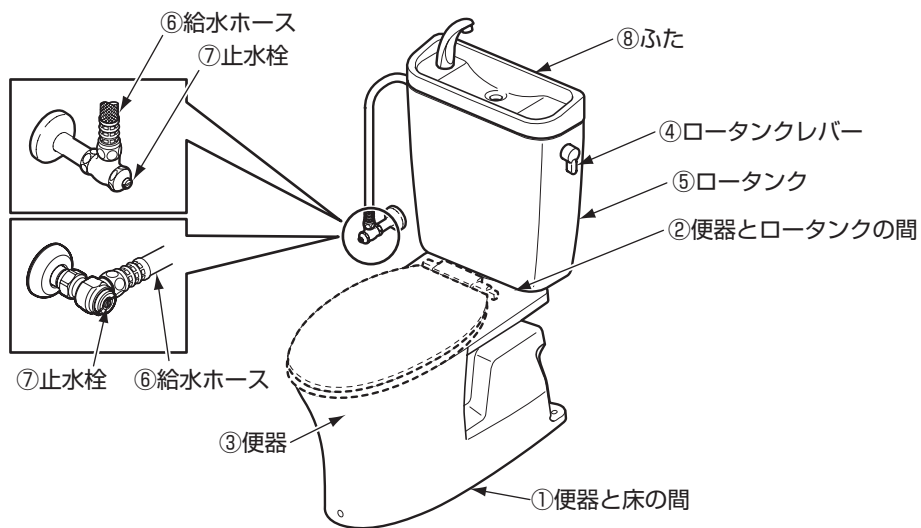
給水フィルターの詰まりを掃除してください。

給水フィルターが詰まると、ロータンクに水がたまる時間が長くなります。（手洗い付きタイプの場合、手洗いの水の勢いも弱くなります）

*お手入れの方法は、P.15～P.19をご確認ください。

定期的な点検

商品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故を防止し、商品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客様自身による以下の点検を毎年1回は実施いただきますようお願いいたします。



点検項目	点検部位 (商品図を参照)		具体的事象 (危害情報など)	点検目安	実施日	
水漏れがありませんか？ (洗浄時)	便器と床の間 便器とロータンクの間 給水ホース、止水栓	①②	水漏れ	年1回以上	/	/
		⑥⑦			/	/
					/	/
ひび割れ・欠けが ありませんか？	便器、ロータンク、ふた	③	けが、水漏れ	年1回以上	/	/
		⑤			/	/
		⑧			/	/
ガタツキやゆるみ がありませんか？	ロータンクレバー ロータンク、ふた	④	けが、水漏れ	年1回以上	/	/
		⑤			/	/
		⑧			/	/
サビ・つぶれ・折れ曲がり がありませんか？	給水ホース	⑥	水漏れ	年1回以上	/	/
					/	/

故障かな?と思ったら

⚠注意



分解禁止

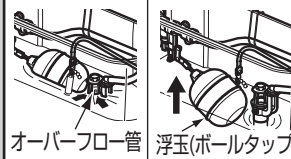
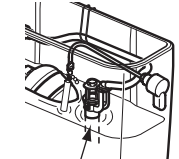
この説明書に記載された項目以外の分解や改造はしない
止水、吐水不良などの不具合や器具が破損し、けがをしたり、
水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



●修理を依頼される前に、以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス（株）へ修理を依頼してください。詳しくはアフターサービス(P.36参照)をご確認ください。

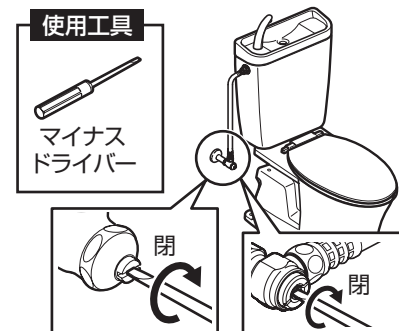
修理を依頼される前に(各部のなまえはP.5でご確認ください)			
現象	状況	処置の仕方	参照ページ
ロータンクに 水がたまらない、 またはたまるのが遅い。 (目安2分)	止水栓が開いていない。	止水栓を開いてください。	P.25
	給水フィルターにごみが詰まっている。	給水フィルターの掃除をしてください。	P.15~P.19
床に水が漏れている。	便器に発生した露が床に垂れている。	乾いた布で露をふき取って、トイレの換気をしてください。	P.15
	便器から飛び出した小便が床に垂れている。	飛び出した小便は、ぞうきんでこまめにふき取ってください。	P.15
ロータンクがガタつく。	ロータンクを軽く押すとガタツキがある。	タンク固定金具を締め増ししてください。	P.25
給水ホース部から水漏れする。	—	ナット部を締め増ししてください。ナット部を締め増しても漏れる場合は、パッキンを交換してください。	P.26~P.27
便器が詰まった。	—	市販の詰まり除去用の器具(商品名:ラバーカップなど)で、詰まりを除去してください。	P.24
汚物がきれいに流れない。	止水水位がオーバーフロー管の上の黒線(標準水位)より低い。	止水水位を調整してください。	P.9
	排水管の状況に影響を受けて性能が低下している。	洗浄水量設定を変えてください。(大洗浄4.8L(標準)を大洗浄6Lに変更できます)	P.30
水たまり付近に汚物が付着する。	排水管の状況により、水たまり面が下がっている。	洗浄水量設定を変えてください。(水量を変えずに水たまり面が低下する場合の対応方法に変更できます)	P.31~P.32

修理を依頼される前に(各部のなまえはP.5でご確認ください)

現象	状況	処置の仕方	参照ページ
水が止まらない。	オーバーフロー管から水があふれている。  オーバーフロー管 浮玉(ボールタップ)	止水位を調整してください。	P.9
	オーバーフロー管から水があふれていないのに浮玉(ボールタップ)より時々吐水する。  オーバーフロー管	弁座パッキンを交換してください。 排水弁バルブ部を交換してください。	P.28~P.29
手洗い金具がガタつく。	手洗い金具にガタツキがある。	ふたの裏にあるナットを締め増ししてください。	—
ロータンクレバーがガタつく。	ロータンクレバーがガタついて回しにくい。	ふたを外して、ロータンクレバーを固定しているナットを締め増ししてください。	—
ロータンクレバーが空回りする。	ロータンクレバーが空回りして洗浄できない。	玉鎖をかけ直してください。	P.29
便器の洗浄ができない。	玉鎖が外れて洗浄できない。		
	玉鎖が切れて洗浄できない。	排水弁バルブ部を交換してください。	P.28~P.29

緊急時の水の止めかた

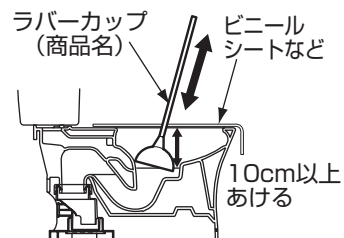
配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急の場合は水道の元栓を閉めるか、下図の要領で止水栓を閉めてください。



マイナスドライバーで右に止まるまで回して、止水栓を閉める。

※止水栓がない場合は水道の元栓を閉めてください。

便器の詰まり除去



ワンポイントアドバイス

周囲に汚水が散らないよう、ビニールシートで便器を覆うことをおすすめします。

便器が詰まった場合、市販の詰まり除去用の器具(商品名:ラバーカップなど)で詰まりを除去する。

便器の上面近くまで水位がある状態でラバーカップを押し込むと、ロータンクの排水弁バルブ部が開き、汚水があふれることがありますので、手動ポンプなどを使い、水位が便器の上面より10cm以上低くなってからご使用ください。ラバーカップはゆっくりと押し込んで便器に密着させ、一気に引き上げてください。トイレトペーパー以外の物が詰まった場合、配管が詰まる可能性がありますので、詰まりを押し流すのではなく、引き出してください。ラバーカップを使用して詰まりを解消できない場合は、専門業者へ依頼してください。

⚠️注意



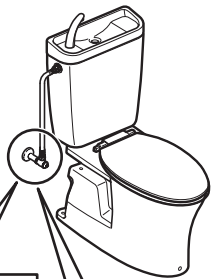
詰まった状態で水を流さない
詰まった状態で水を流すと汚水があふれて、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

止水栓の開閉

使用工具



マイナス
ドライバー



マイナスドライバーで矢印の方向に回して開閉する。



*内側だけを回すこと。

⚠注意



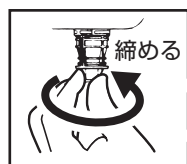
必ず実行

必ず止水栓の調整を実施する

実施しない場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

※止水栓の調整については、P.10「ロータンクから水をあふれさせないために（止水栓の調整）」を参照してください。

タンク固定金具の締め増し



ナットを手で締め増しする。

⚠注意



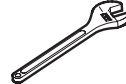
禁止

工具は使用しない

工具を使用すると、部品が破損し水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

給水ホースナット部からの水漏れ対応

使用工具



モンキー
レンチ



マイナス
ドライバー

交換部品

パッキン
(HF91017)
(P.37参照)

⚠注意



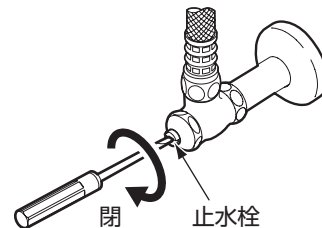
必ず実行

止水栓本体を手でしっかり押さえて、袋ナットを回す

しっかり押さえていないと、止水栓、給水ホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

1. 袋ナットを締め増しする。

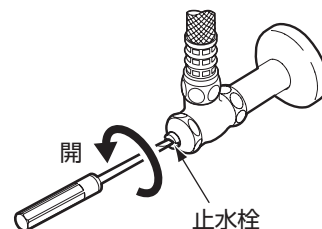
① 止水栓を閉めます。

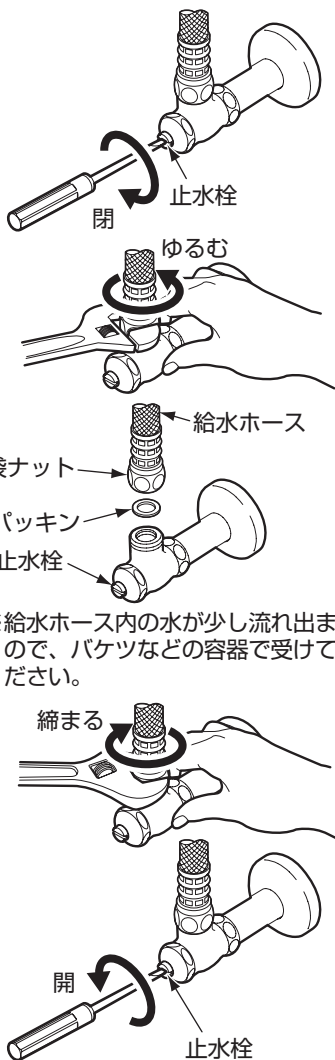


※給水ホース内の水が少し流れ出ますので、バケツなどの容器で受けてください。

② モンキーレンチで袋ナットを「締まる」の方向に回して締め増しします。

③ 止水栓を開き、水漏れがないか確認します。





※給水ホース内の水が少し流れ出ますので、バケツなどの容器で受けてください。

2. 袋ナットを締め増ししても水漏れが止まらない場合は、パッキンを交換する。

- ① 止水栓を閉めてから、ロータンク内の水を流します。流したあと、ロータンク内に給水されていないことを確認します。
- ② モンキーレンチで袋ナットを『ゆるむ』の方向に回して外し、給水ホースを外します。
- ③ 古いパッキンと新しいパッキンを交換します。
- ④ 袋ナットを止水栓に接続し『締まる』の方向に回して締めます。
- ⑤ 止水栓を開き、水漏れがないか確認します。

注意



必ず止水栓の調整を実施する

必ず実行

実施しない場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

※止水栓の調整については、P.10「ロータンクから水をあふれさせないために（止水栓の調整）」を参照してください。

排水弁バルブ部・弁座パッキンの交換



1. 止水栓を閉めてからロータンク内の水を流す。

※止水栓の閉めかたはP.25の「止水栓の開閉」を参照してください。

2. ふたを外す。

※P.7～P.8の「ふたの取り外しかた・取り付けかた」を参照してください。

3. 排水弁バルブ部をオーバーフロー管より外し、玉鎖のクリップをロータンクレバーより外す。

- ① フックバーに指をかける。
- ② 垂直に持ち上げる。

・弁座パッキンの交換の場合は4・5を実施してください。

・排水弁バルブ部の交換の場合、6へ進んでください。

4. 弁座パッキンを、排水弁バルブ部から取り外す。

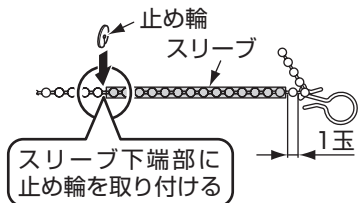
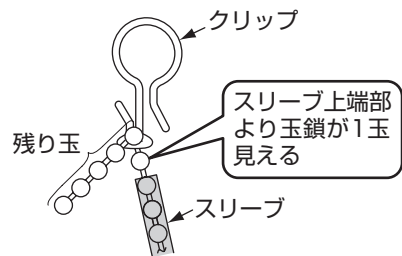
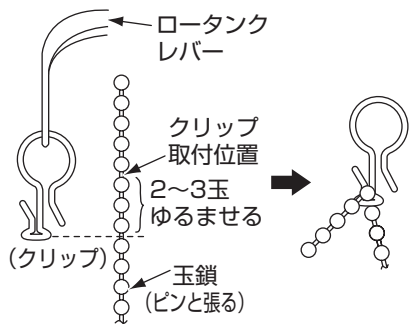
5. 弁座パッキンを、排水弁バルブ部に取り付ける。

6. 新しい排水弁バルブ部を取り付ける。

※逆の手順で新しい排水弁バルブ部を取り付けてください。フックは「カチッ」と音がするまで、しっかりと取り付けてください。

このときは

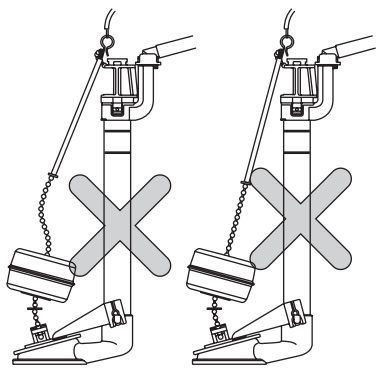
このときは



悪い例

たるみ過ぎ

張り過ぎ



7. スリーブ、止め輪を取り外す。
クリップから玉鎖を外し、スリーブ、止め輪を取り外してください。

8. 玉鎖の長さを調節する。

- ①クリップから玉鎖を外し、クリップのみロータンクレバーに取り付ける。
- ②玉鎖をクリップに向かってピンと張る。
このとき、排水弁バルブ部が浮かないように注意する。
- ③玉鎖を2~3玉ゆるませてクリップに取り付ける。

注意



玉鎖は正しい長さで取り付ける
玉鎖がたるみ過ぎたり、張り過ぎたりすると、洗浄不良や止水不良の原因となります。

必ず実行

9. スリーブと止め輪を取り付ける。

- ①クリップからの残り玉数を数える。
- ②クリップを外した後、玉鎖にスリーブを挿入し、①で確認したクリップからの残り玉数の位置にクリップを取り付ける。
- ③スリーブ上端部より玉鎖が1玉見えるようにスリーブ位置を調整する。
- ④スリーブ下端部に止め輪を取り付け、クリップをロータンクレバーに取り付ける。

10. ロータンクレバーを数回回し、排水弁バルブ部がスムーズに開閉することを確認する。

11. ふたを元に戻す。

※P.7~P.8の「ふたの取り外しかた・取り付けかた」を参照してください。

12. 止水栓を開きロータンクに給水させて水が止まったことを確認する。

※排水弁バルブ部交換後、下記の不具合が生じるときは、玉鎖の長さが適切でない可能性がありますので、7の手順を再度行うか、1~2玉ずつ長さ調節を行ってください。それでも直らないときは、修理を依頼してください。

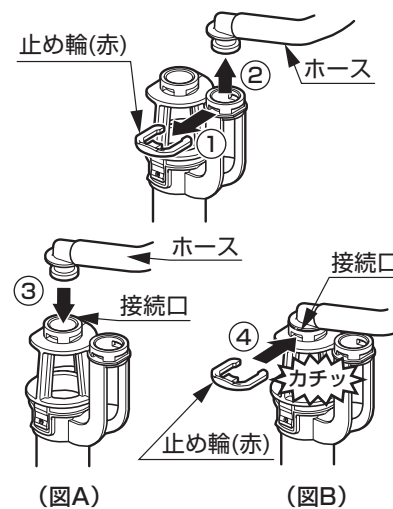
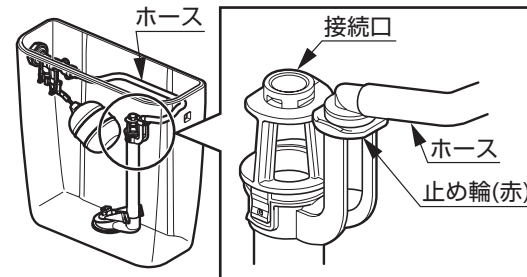
- ・水や汚物が流れない (流れにくい) → 玉鎖を短くする
- ・水が止まらない → 玉鎖を長くする

洗浄水量設定の変更方法(大洗浄6Lへの変更方法)

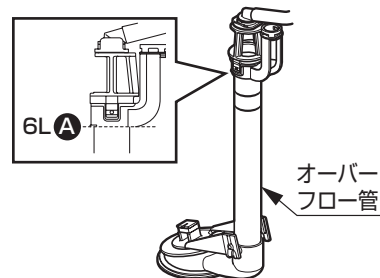
汚物がきれいに流れない場合、洗浄水量設定を変更することで汚物の排出が改善されることがあります。

ホース接続位置の変更

初期設定では、ホースは左図のように接続されています。



止水位の調整



- ① 止め輪(赤)を手前に引き抜く。
- ② ホースを上を持ち上げて取り外す。
- ③ ホースを接続口に差し込む。(図A)
- ④ 止め輪(赤)を接続口に差し込み固定する。(図B)
※このとき「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ⑤ ロータンクの止水位をオーバーフロー管の図Aにあわせる。
※止水位調整方法についてはP.9の「止水位の調整」を参照ください。

洗浄水量設定の変更方法(水たまり面が低下する場合の変更方法)

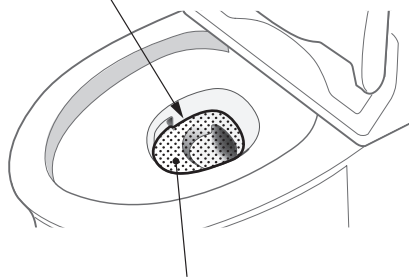
水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。
大洗浄をしたあと、水たまり面の状態を確認してください。
排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

正常な状態

設定変更は不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります)

正常な水たまり面



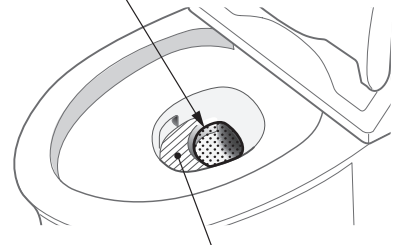
この面まで水がたまっている

水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

(洗浄水量を変えずに水たまり面を正常な状態にすることができます)

水たまり面が低い



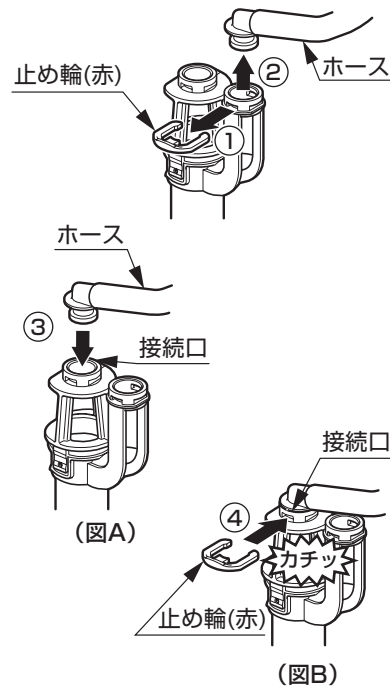
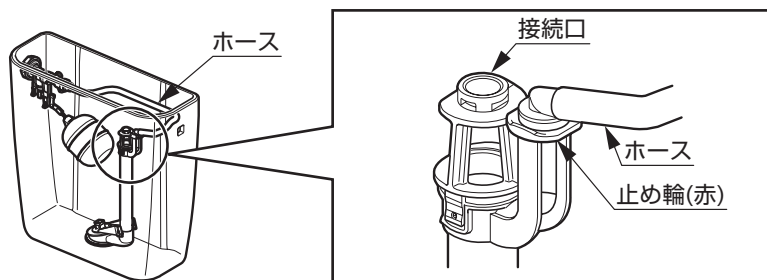
この面(斜線部分)まで水がたまっていない

<水たまり面の判断に迷ったときは>

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

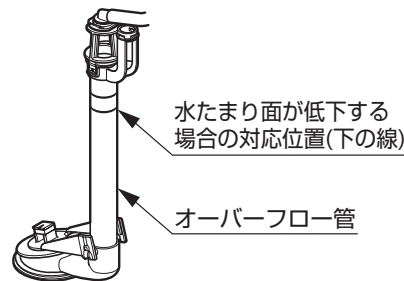
ホース接続位置の変更

初期設定では、ホースは図のように接続されています。



- ① 止め輪(赤)を手前に引き抜く。
- ② ホースを上を持ち上げて取り外す。
- ③ ホースを接続口に差し込む。(図A)
- ④ 止め輪(赤)を接続口に差し込み固定する。(図B)
※このとき「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

止水位の調整



- ⑤ ロータンクの止水位がオーバーフロー管の黒線に合うように調整する。黒線は2本ありますが、下の線にあわせる。
※止水位調整方法についてはP.9の「止水位の調整」を参照ください。

便器のQ&A

便器まわりにできる黒いシミの原因は？

立位で小便をする際に、便器内のあたる場所によっては小便が跳ね返る場合があります。特に、木質系のフローリング床でそのまま放置されると、小便中のアンモニアによって黒いシミが発生することがあります。



トイレを使ったときの、あのイヤな「おつり」はなくせないの？

トイレ使用時の水はね、俗にいう「おつり」は便器に水たまりがあることが原因です。汚物の形や量などによっては水が跳ね返ってくる場合がありますが、この水たまりには下水からの臭気を遮断する大切な役割があるため、なくすわけにはいきません。水たまりにあらかじめトイレレットペーパーを浮かべておくと、多少おつりは予防できますので試してみてください。



便器内の黒色やピンク色の汚れの原因は？

便器の水たまり部や水出し穴付近などが黒く変色したり、ピンク色の汚れがつくことがあります。これは空気中に浮遊しているカビの孢子や細菌が便器に付着した汚れを栄養にして繁殖したものです。汚れた場合は、トイレ用中性洗剤をトイレブラシなどにつけてこすり落としてください。

便器洗浄後にロータンク内から「パタン」と音がるのはなぜ？

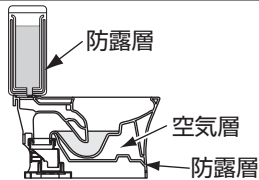
ロータンクの内部にロータンクレバーから玉鎖でつながっている排水弁があります。ロータンクレバーを回すと排水弁が開いてロータンク内の水が便器側へ排出されますが、排出されたあとに排水弁が閉じて再びロータンク内に水をためます。その排水弁が閉じる際に『パタン』と音がるため、便器の異常ではありません。床などの建築躯体などで多少音の大きさに違いがあります。

便器洗浄後に床下から「ピシャピシャ」と音がるのはなぜ？

洗浄後に便器の封水を確認するために、若干水があふれる（オーバーフローする）仕組みになっており、その際に排水管で音（ピタ、ピチャなどの音）が発生する場合があります。

なぜロータンクや便器の表面に水滴がつくの？

ガラスのコップに氷水を入れると、たちまちコップが汗をかくように、便器やロータンクも汗をかくことがあります。この汗を結露といいます。湿度が高く水温と室温の差が大きいほど発生しやすく、地下水を利用している場合や湿度の高い梅雨時、あるいは冬の暖房時などによく見られます。



※防露便器・防露タンクでも、室温と水温の差が15℃以上で室内の湿度が80%に達すると結露することがあります。 <参考>防露便器、ロータンクの構造

汚物排出後に「ゴボッゴボッ」と音がする原因は？

排水管の状況によっては、「ゴボッゴボッ」と音がする可能性があります。排水管へ通気を取っていない場合、特に2階以上へ設置している場合に発生しやすくなります。

細かい汚物の残りはなくせないの？

汚物の種類（下痢便など柔らかい軽い汚物など）によってはまれにですが、一度の洗浄では流れきれない場合があります。その場合は、もう一度流してください。

便器内に汚物は付着しないの？

汚物の種類や粘性によっては、まれに便器ボウル内の乾燥面だけでなく、便器内の水がたまっているところにも汚物が付着する場合があります。また、便器の洗浄水だけでは洗い流せないことがあります。

立って小便をする場合はねは、なくせないの？

立って小便をする場合、小便が跳ね、便器外へ飛び出すことがあります。便器内にたまった水などに小便が当たり発生するものです。座って小便することで小便の跳ね返りを軽減することができます。

バリウム残りはなくせないの？

バリウムなどのように水に不溶で比重が大きいものの排出につきましては、一度の洗浄では流れきれない場合があります。あらかじめトイレレットペーパーを敷いていただくと若干排出が良くなりますが、完全に流せない場合は、便器内に残ったバリウムおよび汚物をトイレブラシなどで溜水と混合した後に数回洗浄してください。

断水で水が流せないときは？

便座・便ふたを上げて、バケツ1杯（8L程度）の水を便器ボウル面中心をめがけて勢いよく流すことで、便器を洗浄することができます。流したあと水位が低くなった場合は、水を継ぎ足すとおいを防ぐことができます。

※タンクに直接水を入れることは避けてください。



仕様

品番	CS595系	
洗浄方式	トルネード洗浄	
座面形状	エロンゲート（大形サイズ）	
便器標準洗浄水量	大4.8L	
清掃性	セフィオンテクト	あり
	フチ形状	フチなし形状
	防露	便器部・タンク部

JIS Z2801の基準を満たした（社）日本建材・住宅設備産業協会基準による抗菌に関する表示
 （※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。）

抗菌	抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
	抗菌加工部位	便器ボウル・上面、手洗器ボウル
	抗菌剤の種類	無機系（酸化亜鉛等）
	抗菌性能持続性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
	安全性	（社）日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
	取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品表面はよく掃除された状態に保ってください。

アフターサービス

【修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.22)をご確認ください!】

保証書（この説明書のP.38が保証書になっています）

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼り付けラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。
- 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。（例：パッキン・ダイヤフラムなどの摩耗劣化部品の交換を含む）
→「修理を依頼されるときは」（本ページ）「修理料金について」(P.37)をご確認ください。

部品の交換について

- 無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

- この商品の補修用性能部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの)の供給期間は、製造中止後10年です。

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】

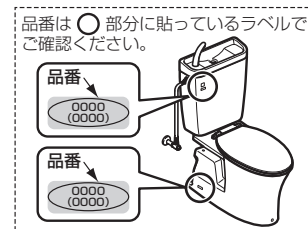
お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)(電話番号は裏表紙をご参照ください)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名 ③品番 ④取付日
- ⑤故障内容、異常の状況（どこから水漏れしているかなど）
- ⑥訪問希望日

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTO（株）お客様相談室」
 または「TOTOメンテナンス(株)」
 （電話番号は裏表紙をご参照ください）



修理料金について <TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。

標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

交換部品/別売品

部品名	交換部品						別売品	
	排水弁 バルブ部	弁座 パッキン	パッキン ※給水ホース (ロータンク側)	パッキン ※給水ホース (止水栓側)	フィルター	フィルター ※再生水仕様 の場合	開閉工具 ※再生水仕様 の場合	蛇口まわりの クリーナー
形状								
品番	THK38R	93A64E	91610E	HF91017	90678RW	66435R	85060R1Z	THYZ3
希望小売価格	¥2,300 (税込¥2,415)	¥330 (税込¥347)	¥120 (税込¥126)	¥35 (税込¥37)	¥150 (税込¥158)	¥200 (税込¥210)	100円 (税込105円)	1,100円 (税込1,155円)

- 品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 交換頻度の目安は、使用環境により異なります。
- 交換部品/別売品を購入されるときは、「TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンター」(電話番号は裏表紙をご参照ください)にお問い合わせください。

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターでご購入する場合

◆お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。

※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

◆お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。

※送料の 支払い	1回のご注文金額	送料
	¥10,000(税込¥10,500)以上の場合	無料
	¥10,000(税込¥10,500)未満の場合	¥500(税込¥525)

◆返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターまでご返送ください。

送料はTOTOパーツセンターが負担し部品を送付させていただきます。

お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。

お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

TOTO®

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店(または販売店)、またはTOTOメンテナンス(株)(フリーダイヤルTEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02)に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様	商品名称	タンク密結形便器	
	おところ	〒		品番	CS595系
取付店 販売店	〒	Ⓜ	基本保証		取付日から2カ年
	電話	—		特定機能の 延長保証	防水機能
取付日	年	月	日		
備考					

防水機能保証範囲例：便器およびタンク陶器本体部の衝撃以外に自然に発生する割れ・ひびによる水漏れ

★お客様へ

- この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店(または販売店)名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
 - (1) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - (2) 弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、取扱説明書やホームページなどに掲載している以外の分解・修理、不当な改造などに起因する不具合。
 - (3) 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
 - (4) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
 - (5) 金属の腐食しやすい環境(海岸付近、温泉地など)に起因する不具合。
 - (6) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
 - (7) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
 - (8) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
 - (9) 部品(乾電池など)の消耗による不具合。
 - (10) 日常のお手入れ箇所(フィルターなど)や水抜栓などのOリングやパッキン・ダイヤフラムなどの摩耗・劣化による不具合。
 - (11) 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
 - (12) 水道に関する国の基準(水道法)に定められた飲料水の水质基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
 - (13) 凍結に起因する不具合。
 - (14) 本書の提示がない場合。
 - (15) 本書にお客様名、取付日、取付店(または販売店)名、扱者印の記入のない場合。

●部品の交換について

無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)にお問い合わせください。

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室 TEL ☎ 0120-03-1010 FAX ☎ 0120-09-1010